

やけのそよ風



No. 14

令和4年9月6日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

楽しかった 協力した 林間学習(5年生)

9月2日(金)、3日(土)の2日間、5年生が奈良県天川村に林間学習に行ってきました。本来は、7月の夏季休業中に実施する予定でしたが、感染症の影響で延期を余儀なくされ、9月の授業中の実施となりました。週間天気予報では、林間学習1日目、2日目ともずっと雨マークだったことが心配の種でしたが、子どもたちが活動する時間帯は運よく天気恵まれ、すべての活動を終えることができました。



待ちに待った林間学習の当日。早朝にもかかわらず多くの保護者の方や教職員に見送られ、子どもたちは元気に出発しました。

天川村に到着し、最初に野外炊飯を行いました。グループごとに火を起こす係、材料を切って煮込む係、米を炊く係に役割を分担して、協力しながらカレーライスを作ります。苦労して作り、大自然の中で食べたカレーライスの味は極上だったようで、おかわりをした子どももたくさんいました。その後、天川村のまちの中を歩いて、山の中腹にある面不動鍾乳洞の見学をしました。鍾乳洞の中は気温が低く、夏場でも涼しいです。洞内は、まさに大自然がつくった芸術。子どもたちは不思議な光景に魅せられていました。

1日目の夜は、キャンプファイヤーを行いました。初めて経験する子どもも多かったようですが、火の精、司会などファイヤー係が大活躍し、集いを大いに盛り上げていました。また、4つのグループがダンスを披露しました。ダンスは、子どもたちが1学期から練習してきました。どのグループも息がぴったりで、演じる子どもたちも、見ている子どもたちも一緒に楽しんでいました。子どもたち一人一人が、みんなと楽しむためにどうすればよいのか考え、実行するという素晴らしい体験ができました。

2日目の午前中は、川沿いの散策コースをグループで歩き、オリエンテーリングを行いました。途中、川のせせらぎを聞き、かじかの滝、トウロウの岩屋など、自然が織りなす風景を満喫しながら、グループで力を合わせて歩きました。オリエンテーリングの後は、川遊びや焼き板の絵付け体験の活動を楽しみました。

いろいろなことに一生懸命取り組む子どもたちの姿がとても頼もしかった2日間でした。

5年生の子どもたちと2日間生活を共にし、立派だなと思ったことがたくさんありました。まず、楽しむときは思いっきり楽しむけれど、次の活動に向けてすばやく行動していました。また、友達を大事にし、協力する姿がとても印象的でした。子どもたちの自覚ある行動によって、大きな怪我や事故がなく、無事帰校することができました。

子どもたちにとって、学校では経験できないたくさんの貴重な体験ができ、充実した2日間だったと思います。充実した林間学習になったのも、自分たちの力はもちろんのこと、たくさんの方々の支えがあったからこそ、すばらしい行事ができたということを子どもたちには忘れないでほしいと思います。特に、保護者の皆様方には、林間学習前からの準備や子どもたちの健康管理など、何かとご配慮をいただいたことと思います。

子どもたちが今回の林間学習の経験を生かし、これからも仲良く協力して、立派な高学年としてますます活躍することを期待しています。

やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【林間学習（５年生）】



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。